

みちのく

青森県鰺ヶ沢町 ホテルグランメール 山海荘

ココロとカラダの癒し旅

津軽の持ち味を生かしたホテル

日本海の海岸伝いに人気の観光列車「リゾートしらかみ」号が行き来し、世界遺産白神山地にもほど近い青森県鰺ヶ沢町の海岸段丘の上に、一見ヨーロッパの古城を思わせる「ホテルグランメール 山海荘」の威容がある。客室数80室、収容人員380名という大型温泉ホテルだ。

しかし、特に名のある観光地でもないこの地に、これだけ大きな宿泊施設があり、しかも盛業を続けているというのは、たいへんに興味深いものがある。

ホテルの開業は平成11年と比較的新しいが、起業の歴史は戦中までさかのぼる。昭和18年、現在の鰺ヶ沢駅近くで、五能線沿線では最も早く温泉が湧いた。ホテルの前身はまずこの地で温泉公衆浴場を開業し、その後、鰺ヶ沢温泉「山海荘」として、長く温泉宿を営んできた。そのような「地の利」を知り尽くした地元



海に面したラウンジ。夕陽の時間にくつろぐのもいい



定期的に展示品が入れ替わる館内ギャラリー



吹き抜けのロビーに優雅なステイの予感



和風と洋風の大浴場。一泊すれば両方楽しめる。女性向けにだけ広いパウダールームが用意されている



風除室にある百年前の英国製大型姿見。女性客を大切にする心遣い

ひとくちに言ってグランメル山海荘は、女性客を大切にする温泉ホテルだ。その象徴的な設備は大浴場に付属する広いパウダールーム。大浴場自体は、和・洋にアレンジした同じ大きな浴場が二つあり、毎日男女を入れ替えるが、パウダールームは常に女性のみが利用できる構造になっているのだ。男性客はこの空間に立ち入ることはできない。まさに女性だけの快哉^{かいさい}！

その他、館内のおしゃれな調度、そここにさりげなく置かれた当館の女性社長のコレクションのアンティークなど、女性の休日^{びゅう}を和ませる趣向には事欠かない。美貌^{びよう}に磨きをかけたい向きには、エステルームもある。

客室は、一部の予備的な部屋を除いて、大半がオーシャンビューになっている。ホテルの建つ高台はかつて津軽藩の砲台があった場所なのだそうです、日本海の眺望は文句なし。天気の良い日の夕方なら、部屋にいながらにして水平線に沈む夕日を眺め

とりわけ女性にやさしい宿

会社だからこそ、津軽を行き交う旅行者に最高のおもてなしを提供しようという思いは永年の夢であり、ホテルの開業は満を持してのものであったろうと思われる。



館内にはコレクションのアンティークがさりげなく置かれている



和室二間にベッドルームがつく定員 10 名の特別和洋室



最上階に1室のみの優雅な特別洋室

クアウトすることができ。ホテルでは多様な宿泊プランを用意しているの
で、ホームページでチェックすること
をお勧めしたい。



朝食はバイキングとパン
朝食セットからチョイス

浴場の湯は紅茶色したナトリウム—塩化物強塩泉の天然温泉。湯温もほどよく、長くゆったり入ってられるあたたまりの湯だ。海に面した露天風呂で夕日を眺めながらの長風呂も楽しめる。

夕食は、北海道のニシン番屋を復元した建物が会食場になっている。津軽富士・岩木山麓の山の幸と日本海の海の幸と、地場の食材を多用したこちそうは、食通を自認する人にも大いに納得できる内容。ありがたいのは朝食のサービースだ。朝7時からの大広間でのバイキングと9時半からのラウンジでのパン朝食と、お好みでチョイスできる。久しぶりの休日でゆつくり朝食を楽しみたい人でも、ゆつくりと朝食をとって、ゆつくりと日時までにチェックアウト

高台から正面に海を見下ろす絶景露天風呂



海に面した回廊を豪華客船のデッキに見立てて

ゆったりとしたつくりの和室中心の宿である



季節限定・鯔ヶ沢の活ヤリイカ(別注文)



会場となる「ニンシ番屋」。毎晩9時から津軽三味線の生演奏が披露される



デザートの「お楽しみパレット盛」



寄せ鍋



活鮑踊り焼



旬の日本海の幸が並ぶお造り

GRAND MER SANKAISOU

施設のご案内

- 収容人数 380 名様
- 駐車場完備
- 客室 81 室(特別和洋室 1 室、特別洋室 1 室、ハートフルルーム 1 室、和室 65 室、洋室ツイン 6 室、洋室シングル 6 室)
- 洋風浴室(サウナ、露天風呂付)
- 和風浴室(サウナ、露天風呂付)
- エステルーム ●パウダールーム
- 和洋宴会場「饗宴の間」
- 小宴会場 ●会議室
- 倶楽部「アムール」
- ラウンジ「ラメール」
- カラオケルーム ●ギャラリー
- 茶室「光雲庵」 ●お食事処「ニンシ番屋」

お一人様 1 泊 2 食付き

4 名様 12,750 円より (税・サ込)

3 名様 13,800 円より (税・サ込)

2 名様 15,900 円より (税・サ込)

秋田県内から鯔ヶ沢まではやや距離がある。能代市からでも約100キロ、順調に走っても2時間半はみたほうがいい。JR五能線の観光列車「リゾートしらかみ」を利用するのもいいだろう。夏場は一日3往復走っていて、途中下車をして観光も楽しめるので、案外便利だ。事前に申し込んでおけば鯔ヶ沢駅までホテルから送迎バスも出る。

リピーターも多い人気宿で、ゴールデンウィークから紅葉シーズンまで、ホテルはいつもにぎわっている。のんびりとした休日を過ごしたければ、ゴールデンウィーク前の4月中旬が狙い目と言えよう。

(文・写真〓かつりゅうつてつ〓秋田市)

早春の津軽路を楽しもう



ホテル グランメール 山海荘

〒038-2761

青森県西津軽郡鯔ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸1

TEL.0173-72-8111 Fax.0173-72-9111

HPアドレス <http://www.sugisawa.co.jp>

Eメール grandmer@sugisawa.co.jp

